

【16～18頁】

総長 これでは、サンシャイン専門学校の立て直しは。海外の、海外の学生にもよ、説明でこれ流すし、インターネットで流すし、国内もやるし。

別所 ただ、金額的には、総長おっしゃるように十分な額ですけども、タイミングが、先ほどお話したように、もう時間がない。

総長 10月から、認可おきたらすぐにやらないと。

別所 ええ、ええ。ええ。

総長 その前にこれやっというて、願書、すぐ年内に、11月、12月で集めない。年内中。

別所 だから、こっちの池袋についてはですね、そのサンシャイン学園にしたら、時間がない。はっきり言って、このサンシャイン学園の……。

総長 池袋は、だから、池袋も、そうそう、時間がない。田嶋先生、だから、ちよっと、こっちに説明して、田嶋先生。

別所 サンシャイン学園の今の体制だと、唐木田先生のほうもかなり、何というか、試算というか、されてて、私の、今までのサンシャイン学園とのあれでいうと、とにかくこの体制をせっかく総長がおつくりになっているにもかかわらず、今回も、もし間に合わないとする、サンシャイン学園に対応できないとなると、あと、また1年待たなきゃいけないような状況だと、サンシャイン学園というのは時間がないという部分がおそらく……。

総長 もう完全に倒産だろ。多分、年内に。

別所 ええ。ということですね。

総長 倒産しない？ サンシャイン学園は、私も経営者だからわかるけど、これだけお金が入ってこない、大体、留学生が窃盗だ、万引きだ、やって、刑事事件ばんばん起こしてんだろ。蛇頭が入れたやつだから、金払わない、勉強しないやつばかりだろ。で、倒産するだろ。それで、1年おくれると、年内にやらないと、もう、留学生入ってこないよ。1年たったら、来年の秋から、再来年の4月分は学

生入ってくるから。それまでにもう、完全に倒産するだろ。違う？ 唐木田先生、どうですか。来年の5月までに完全に倒産してるだろ。倒産すると、背任、横領の刑事事件になるぞ。

—— 来年の9月、またボーナス加えてますから、ちょっと無理でしょうね。資金繰り的には、今年もあれだから、ボーナス、ここでもショートすると思いますけど。

総長 田嶋先生はそういうことを全然考えてやってないだろ、相手の立場を。倒産するのよ。それか、今みたいな計算で、幾ら入る、金、初年度。別所先生。

別所 1,500で、30ですね。

総長 えっ？

別所 約30億円。

総長 30億入るの。

別所 ええ。1,500名ずつで。

総長 これは4年間だから、累積してくだろ。120億の金が入るわけだよ、専門学校で。大学より大規模になっちゃう、もうかるの。何でそれをやらんの。聞いてんだよ、おい。

田嶋 何でやらん……。

総長 何でおまえ、ちっとも努力しないんだよ、おまえ。間違ったことばっかやらせて、いつまでも放棄して。倒産したらおまえ、背任、横領だよ。おまえ、刑事で逮捕だぞ、おまえ。

【23～24頁】

総長 ●●はだな、倒産さしたら、背任、横領で逮捕されるぞ、おまえ。それか、こうやって持ってって健全にするか、どっちだ。早く辞めろって、こう言わないとだめじゃねえかよ。なあ、別所先生、どう思う。早く降りろって。二人で悪事繰り返すぞって。浅尾の言い方じゃ、おれの悪口ばかり言って、おれが何か悪人みた

いに言いやがってさ。それは、こういうことをやってるから、それはうちのかみさんにもね、●●にも悪い尾を引いてるんだよ。紹介しても、田嶋なんか、田嶋なんかは、うそばかり言って、逃げてばかりいて、何もやらねえ。だから来年は首だぞ、おまえ。わかったな。

田嶋 困りますよ。

総長 困るなら何でやらねえんだ、とつとつ。おまえ、人間性が悪過ぎるよ、おまえ。こうやってさ、サンシャインを立て直すぞって、おまえ、ねえ、苦労してこうやってやってんだよな、できないことを。こういうウルトラCがなけりゃ、経営学部つくたって生徒来ないよ。そいで4年間やりゃあ、上手にやりゃ、おまえ、今の勝手な試算だけど、120億入るって。どうだ伊藤、すごいだろ、おまえ。このアイデアは。

伊藤 全く。

総長 伊藤参事官はよ、来住さんの話によると、今度、認可のほうへ来たろ。もう、かんかんに怒ってさ、(私学)部長の前ではおとなしくて、終わったらけつとばしたりしてんの、「このやろう」つつって。

来住 基本的に、伊藤参事官はですね、うちのやつ、バツに……。

総長 バツ、認可しないんだ。

来住 バツにするつもりで現場の指揮をとってやってたらしいんですよ。それを、ある、いろんな、こっちも一生懸命努力してますから、丸にするために、今、私学部長がですね、いろいろと指示出してるわけですよ。でもって、現場は大混乱してるんです。伊藤が、かんかんに怒ってるらしいんですね。で、部長にはいろいろと、「はいはい、はいはい」と。これはもう公務員ですから言ってますけども、それは、部長が帰った後はですね、書類を何か投げ飛ばしたりして、怒り心頭ということらしいです。だけど、そういった、これ、あれしても12月までですから。

【24～25頁】

総長 だから、この来年の3月のあれで、教員を半分入れかえるから。役に立たないのは首。その代表が田嶋清一。

田嶋 ……。

総長 何にもやんねえ、あんなに言われた、3年前から言われたことだって。極悪人だよ。だからさ、別所先生ね。

別所 はい。

総長 さっき言った、試算したのに限りなく近づくように、これからは私がいろいろと工夫して、またこれだけじゃなくて、現におれが、こう、説得して回るわけだよ。海外もそれだよ。ねっ。それで、東京は、変われば、経営者が、早目に。それを田嶋がわかってない。早目にやめさせないと、やつら。全力投球でやらないとだめだよ、おまえ。何にもやらない、この男。働かない男だから。ねっ。そしたら、サンシャインも立て直す、名古屋も立て直す。専門学校は助成金もらってねえから、がたがた言われることはないんだよ。かなりのもんだよな。4年たつとビシッと入るから、金が。3年次編入も、3年、4年と、MBA 2年やるから、4年間かかる。

—— ああ、はい。そうですね、はい。

総長 留学生だって、何万人もいるんだからよ。いいものに、魅力があること、わかれば来ますよ。

【25頁】

総長 文部省に、おまえ、学校を乗っ取られないように、ねっ、ついでに相沢にも乗っ取られないように、相沢をクビにしたろ、おれ。

—— はい。

総長 相沢の首は難しかったよな、伊藤、どうだ、おい。

伊藤主任 はい、難しかったですね。

総長 田中も、事務局長も首にして、赤岩も首にして、ねっ、倉茂も首にして、

入れかえて。あのときは、理事会はおまえ、3対6だよ。知ってんだろ、おまえ。3対6だよ。敵側が6で、こっちが3だよ。ええ？

【29頁】

別所 そのサンシャイン学園の経営陣のほうを早くあれしないと。

総長 そう。だから、サンシャイン、早く降りろと田嶋が言ってこないよ。うん。だから、それ、あっちに向かって言って、田嶋に。

別所 いえ、もう全然間に合わないっていうか、もう、早くしていただかないよ。

総長 経営陣変わらないとだめだ。

別所 これだけのノウハウをあれして……、いや、これ、ノウハウ以前にサンシャイン学園がつぶれますよね、ほんと。そっちのほうを……。

総長 うそ言ったらだめなんだよ、●●●●がまた、うそ言って、大丈夫ですよとか。うそが通るかってんだよ、おまえ。田嶋だっとうそばっか言ってきたんじゃないの。「頑張ってます」、何もやってやしねえよ。だから首になんだろ。うそが通らねえから。首になる前に、男らしく、何かまじなことやってみろよ、おまえ。来住事務局長、いかがでございますか。私の意見。何にもやらないから首に決まってるよな。人いっぱいいるんだもんな。

(後略)

— 了 —